

# 廃炉

5基の廃炉が決定しました。その後この廃炉を取り扱った社説の内容をいくつかのトピック別に比較してみます。(なお毎日新聞はこの件を社説では取り扱っていません)

## 廃棄物

## 使用済み核燃料

原発5基の廃炉 40年運転規制は理不尽だ

2015年3月19日

触れず

触れず

産経

老朽原発の廃炉 円滑な実施へ環境整備を急げ

2015年3月20日

廃炉で出る廃棄物の大半は、通常の産業廃棄物として処分が可能だが、原子炉本体など放射能レベルが高い廃棄物もある。  
(中略)  
(埋設施設の安全対策は) 廃炉の妨げとならぬよう、策定を急ぐべきだ。

現在はその置き場がない。既に10件の廃炉を完了している米国では、空冷式の保管施設を敷地付近などに設ける例が多い。日本も参考にしたい。

読売

老朽原発の廃炉 円滑な実施へ環境整備を急げ

2015年3月22日

処分場の確保もめどがたっていない。  
(中略)  
処分場選びは電力会社だけでは限界がある。国全体で対処にあたるべきだ。

解体の後に残る使用済み核燃料を保管する場所も必要だ。

日経

廃炉の決定 「脱原発」を見据えてこそ

2015年3月18日

政府は高レベル廃棄物の最終処分場について、立候補を待つ方式を改めて、自ら候補地の選定に乗り出す。  
(中略)  
一方的な押しつけにならないよう手続きの透明性ととも、対話する機会を確保することが何より大切になる。

全量を再処理する「核燃サイクル」を掲げることで直視を避けてきた。しかし、事業は事実上破綻している。

朝日

原発廃炉 再稼働の口実にするな

2015年3月23日

廃炉を決めた。だがそれは長い道のりの始まりだ。課題も多い。廃棄物をどうするか。

触れず

東京

## 少しだけ感想を

スペースの都合で先に感想を  
産経新聞は原発を動かせと言うだけなので論外として、(なんせ「原発は、運転開始から多年の歳月が経過していても大部分の機器が新品に交換されているので、老朽化という概念はそぐわない。」とまで言ってますからね。。。)  
言い方は様々ですが、廃棄物・使用済み核燃料は現時点でどうしようもない、というのは共通の認識のように読めます。  
なのになぜか原発推進/脱原発という真っ向反対の結論が出てきます。  
この差はどこまでの将来が視野に入っているか、の違いのような気がします。  
1000年先の子孫のことを考えれば、現時点で始末できないゴミをこれ以上生むという発想は出てこないと思うんですけどね。

ここで産経新聞の言う「理不尽」の中身は  
規制委員会の審査期間が短すぎるという主張です。  
満40年の15ヵ月前からでないと運転延長が申請できないため、  
15ヵ月で審査が終わらないと廃炉になってしまうじゃないか、と。  
同様の主張は読売新聞の社説にもありました。

### 地元自治体について

### 原発のこれから

## 産経

触れず

この理不尽な制度の早急な改正が必要だ。  
**放置すれば、日本の原発はゼロに向かい、国力は地に落ちよう。**それでよいのか。  
(中略)  
規制委の任務は、原子力利用における安全の確保を図ることであって、  
原発を止めることではないはずだ。

## 読売

立地自治体にどのような支援策を講じるかも、大きな課題である。

老朽化した原発を廃炉にする一方で、  
新增設も必要だ。  
今夏をめどに  
原発を含めた最適な電源構成を定める中で、  
**新增設の方針を明確に示すべきだ。**

## 日経

廃炉の影響を緩和し、  
新たな産業の育成や雇用をつくるための  
支援策も検討する必要があるだろう。

**残す原発を国民の理解を得て使い続けるためにも、**  
役割を終えた古い原発は  
確実に廃炉にしていくことが重要だ。

## 朝日

国は、電力消費地との連携をとりもつなど、  
原発からの自立を積極的に支えることに  
注力してほしい。

廃炉の道筋を整えることは一面で、  
原発を更新しやすい環境をつくることにも  
なる。  
(中略)  
**脱原発につなげることにこそ、  
廃炉を進める意味がある**

## 東京

地域発の新事業育成のために、  
交付税を付け替えるなど、  
国策として原発を推進してきた国の  
強力な支援が必要だ。

再稼働ラッシュや  
大型炉新設の口実にしてはならない。  
**原発ゼロへの道は踏み外せない。**